

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和06年01月18日

計画の名称	だれもが気兼ねなく「おでかけ」できる公共交通の走行環境整備（東名吉田IC周辺における公共交通の利便性向上及び交通結節機能強化）													
計画の期間	令和06年度 ～ 令和10年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	占田町													
計画の目標	「占田インター入口」バス停では複数のバス路線が停留しているほか、近隣には空港行バスや高速バスの停留所が存在している。現状では、交通モード間の乗り継ぎのためバス停間を行き来する必要がある、また利用者数に比してバス停自体の規模が小さく、十分な待合・送迎環境が整備されていない。このような中、町の地域公共交通計画において当該エリアにおける公共交通拠点整備に取り組むことを明記した。本事業では、当該計画の記載に基づき、周辺バス停の集約による交通モード間の乗り継ぎ利便性確保や快適な待合環境の整備、拠点の効率的な配置などに取り組み、公共交通の走行環境を整え、また交通結節点としての機能強化を図っていく。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		1,293	A	1,293	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R6当初)		(R10末)
1	吉田インター入口バス停の1日あたりの利用者数を500人とする。 吉田インター入口バス停の1日あたりの利用者数を調査する。 バス運行事業者からのデータ提供（6月実績データの日数割）による	467人	467人	500人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	吉田町	直接	吉田町	市町村 道	改築	町道大窪 3 号線	特定車両停留施設 Λ＝約8, 6 50㎡	吉田町	■	■	■	■	■	726	—	
	A01-002	道路	一般	吉田町	直接	吉田町	市町村 道	改築	町道東名片岡辻 1 号線	特定車両停留施設 Λ—約3, 3 30㎡	吉田町	■	■	■	■	■	407	—	
	A01-003	道路	一般	吉田町	直接	吉田町	市町村 道	改築	町道大窪 3 号線	道路拡張 L—133m	吉田町	■	■	■	■	■	150	—	
	A01-004	道路	一般	吉田町	直接	吉田町	市町村 道	改築	町道谷川東塩谷 2 号線	道路拡張 L—34m	吉田町	■	■	■	■	■	10	—	
											小計							1, 293	
											合計							1, 293	